

## 第5回

# 北区リレーションシップ協議会会議録

平成31年1月30日

第5回 北区リレーションシップ協議会

開催日時 平成31年1月30日(水)

開会 午後7時00分 ～ 閉会 午後8時22分

出席委員(17人)

- 座長 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科 齊藤 恭平
- 委員 日本スポーツ振興センターハイパフォーマンスセンター運営部 河村 弘之
- 委員 北区総合型地域スポーツクラブ れっど★しゃっふる 吉村 実花子
- 委員 北区総合型地域スポーツクラブ コミスポたきのがわ 大竹 秀樹
- 委員 北区スポーツ推進委員協議会 二村 正徳
- 委員 北区商店街連合会 尾花 秀雄
- 委員 東京商工会議所 越野 充博
- 委員 北区文化振興財団 石山 泰史
- 委員 北区立小学校体育会 清水 勝一
- 委員 北区立中学校体育会 綿貫 正人
- 委員 北区立小学校PTA連合会 岡村 和俊
- 委員 北区立中学校PTA連合会 坂場 正岳
- 委員 北区青少年地区委員会会長会 鈴木 將雄
- 委員 北区青少年委員会 清水 恒明
- 委員 北区政策経営部長 中嶋 稔
- 委員 北区地域振興部長 浅川 謙治
- 委員 北区教育委員会事務局教育振興部長 田草川 昭夫

欠席委員(7人)

- 副座長 北区町会自治会連合会 尾崎 眞一
- 委員 北区スポーツ大使 高橋 勇市
- 委員 北区スポーツ大使 上田 春佳
- 委員 北区スポーツ大使 石野 枝里子
- 委員 東京都障害者総合スポーツセンター 高山 浩久
- 委員 東京都北区体育協会 根本 貞義
- 委員 東京北区観光協会 大前 孝太郎

---

## 次 第

### 1 開会

### 2 座長あいさつ

### 3 議題

- (1) 東京2020大会カウントダウンイベントの実績報告及び開催について
- (2) 東京五輪音頭-2020-の取組状況について
- (3) 大学連携事業「東京2020プロジェクトチーム（#ときおば）」について
- (4) ROUTE2020 トレセン通り関連事業について
- (5) 東京2020大会におけるハンガリー国競技団体との事前キャンプ実施に係る覚書締結について
- (6) その他

### 4 今後のスケジュール

### 5 閉会

---

午後7時00分開会

【齊藤座長】 まだ何名か来ていらっしゃらない方もいらっしゃいますが、定刻になりましたので、ただいまから第5回北区リレーシヨンシップ協議会を開催したいと思います。

座ったままで失礼します。本日は、お忙しい中、ご出席いただきましてまことにありがとうございます。本協議会の座長を仰せつかっております東洋大の齊藤でございます。本日もよろしくどうぞお願いいたします。

まず、今日の会議の進行に関係することですが、本日の会議につきましては、議事録を作成いたしますので、そのために音声をとらせていただきますので、ご発言の際には、事務局がマイクを用意いたしますので、それにてご発言いただければと思います。

また、活動の記録の作成のために、会議の風景写真を撮影させていただきます。この点もよろしくどうぞお願いいたします。

また、この会議は公開の会議ということになっておりますので、傍聴を希望される方が会場に入ります。あらかじめご了承くださいというふうに思います。

それでは、本日の資料について事務局のほうから確認をさせていただきます。よろしくどうぞお願いします。

**【事務局】** 事務局です。それでは、資料の確認をさせていただきます。私、東京オリンピック・パラリンピック担当の大熊と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、席上にごございます資料のご確認をさせていただきます。

なお、今回資料につきましては、委員の皆様が事前にご高覧いただけるように、1月24日付で事前送付させていただいておりますが、本日の席上にごございます資料は、若干ではありますが、変更した箇所がございますので、それを資料の確認と併せてご説明申し上げます。

まず、1枚目は次第になっております。次第の次に配付資料がございます。それ以降は各資料になっておりまして、右上に資料番号が振っておりますので、ご確認ください。

資料1が、本協議会の構成員名簿でございます。

資料2、本日の席次表でございます。

資料3以降は、次第でいきますと、3の議題の資料になります。

資料3は、東京2020大会カウントダウンイベント実績と開催報告についてで、両面印刷で5ページまでのものをホチキス止めしております。

資料4は、東京五輪音頭-2020-の取組状況についてで、片面1ページとなっております。

続きまして、資料5です。資料5は大学連携事業「東京2020プロジェクトチーム（井ときおば）」についてです。これも片面1ページとなっておりますが、前回、事前にお渡しした資料には、北区ニュースの特集号の1面のイメージ図が載っておりませんでしたので、今回載せております。

資料6は、ROUTE2020トレセン通り関連事業についてです。両面印刷の2ページとなっております。

資料6におきましては、2の継続中事業の進行状況の、アスリート手形モニユメントの台座の取付け状況についての※に記載してあります張本選手の手形取りの日時が、1月24日（木）となっておりますが、ご本人の都合で28日に実施いたしましたので、日付の訂正をするとともに、張本選手の顔写真の追加をしております。

続きまして、資料6-1として、ナショナルトレーニングセンター周辺のバリアフリー化に関する当面の整備方針の概要です。片面印刷となっております。

最後の資料7は、東京2020大会におけるハンガリー国競技団体との事前キャンプ実施に係る覚書締結についての資料で、両面印刷2ページのものとなっております。

資料に不足はございませんでしょうか。

以上でございます。大丈夫でしょうか。

**【齊藤座長】** よろしいですか。

ありがとうございます。

では、資料があるということですので、議題に沿って順次進めてまいりたいと思います。

まず、議題の（1）になりますが、東京2020大会カウントダウンイベントの実績報告及び開催についてということで、事務局のほうからご説明願います。

**【事務局】** 事務局です。オリンピック・パラリンピック担当課、石丸でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、資料3、東京2020大会カウントダウンイベントの実績報告及び開催についての資料をご覧ください。

まず、2年前記念イベントでございます。

1の開催概要。

（1）の名称です。トレセン通りウォーク・スポーツフェスタ【Tokyo 2020 2 Years to Go!】という名称でございます。

2の要旨でございます。区民の意識・関心が高まる記念日に絡めてスポーツイベントを実施いたしまして、東京2020大会開催の更なる気運醸成を図るとともに、オリンピック・パラリンピック関連施設を区内に有する北区ならではのイベントとし、活気に満ち溢れた「トップアスリートのまち・北区」としての取組みを区内外に発信していくと。

(3)の日程でございます。平成30年、昨年(2018年)の7月29日の日曜日に行われました。前日の土曜日に季節外れの台風でどうなることかと思いましたが、当日は晴天に恵まれて、無事に開催することができました。

(4)の会場です。赤羽スポーツの森公園競技場、並びにROUTE2020トレセン通り周辺の赤羽地区でございます。

5番の主催は北区。

6番が協力会社、アシックスジャパン株式会社、東京ガス株式会社、Panasonic株式会社、日本郵便株式会社の協力を得ております。

7番、参加費は、無料でございます。

2の実績です。

(1) 来場者数、約650名。

(2) の実施内容でございます。

①が、オープンセレモニーということで、主催・来賓の挨拶のほか、東京都が推奨しておりました打ち水のイベントと言いますか、打ち水もやったというところでございます。

1枚おめくりいただきまして、2ページをごらんください。

【東京五輪音頭-2020-】ということで、講師を招きまして、2020五輪音頭を踊ったところでございます。

2番のプログラムです。

競技場内といたしましては、まず、トップアスリート直伝サッカー教室ということで、子どもたちを招きまして、FC東京のコーチによるサッカー教室を行いました。

続いて、かけっこ教室ということで、北京オリンピックのメダリストであります朝原氏

を招きまして、かけっこ教室を行ったところでございます。

3ページをご覧ください。

こちら、ノルディックウォーキング、ボッチャということで、北区スポーツ推進委員協議会の皆様の協力を得まして行ったところでございます。

続きまして、視覚障がい者5人制サッカー、義足体験。こちらは東京ガス株式会社。

昼間は打ち水のイベントということで、赤羽西町会の方々に大勢お集まりいただきまして、競技場内で打ち水を行ったところでございます。

次は、スポーツアトラクションということで、アシックスジャパンの講師ということで、様々なアトラクションを行ったところでございます。

続きまして、4ページをお願いいたします。

ターゲット・バードゴルフということで、東京都のターゲット・バードゴルフ協会の協力を得て行ったところでございます。

次は、競技場外ということで、トレセン通りウォークというイベント、北京オリンピックのマラソンに出場いたしました中村選手をお招きして、先頭を歩いていただきまして、ウォーキングを行ったところでございます。

下が、東京2020オリンピック・パラリンピック気運醸成ブースということで、#ときおぱのメンバーで行ったところでございます。

続きまして、5ページになります。

飲食ブース。こちらは、西赤羽商店街連合会の協力を得まして、競技場の外、駐車場との間に焼きそば等々の飲食ブースを設けたところでございます。

続きまして、500日前の記念イベントについてでございます。名称は、桜ウォーク2019・東京2020大会500日前記念イベントということで、従前から桜の咲く時期、4月上旬に行われていました、健康福祉部主催で行っております桜ウォークと、この東京2020大会500日前記念イベントのコラボを予定しております。

実施日は、今年の3月31日の日曜日に行います。

内容は、まず（１）番の桜ウォーク2019ということで、従前は北区役所を出発しまして、石神井川沿いを歩きまして、帝京大学の先あたりで折り返していたんですけども、その折り返しのコースと並行いたしまして、さらに北に進んでいただきまして、ROUTE2020トレセン通り、それから、姥ヶ橋、NTC・JISS周辺、その外周になりますけども、桜が咲いているコースになります。そして、赤羽スポーツの森公園競技場がゴールというようなところで予定しております。

スタート受付が9時から10時。ゴール受付が13時半までという予定になってございます。

（２）番、東京2020大会500日前記念イベントにつきましては、ゴールであります赤羽スポーツの森公園競技場内で行います。

まず、1番目がサッカー教室ということで、東京ヴェルディのサッカースクールコーチを招きまして、サッカー教室を行います。

その後、エキシビジョンマッチということで、13時からキックオフということで、こちら女子サッカーですね、日テレ・メニーナ、浦和レッドダイヤモンドレディースユースということで、高校生世代の女子のサッカーのエキシビジョンマッチを予定しております。

最後になりますけども、赤羽スポーツの森公園競技場外ということで、事前キャンプ誘致のPR、それと、アシックスジャパンの協力によりまして、シューズの展示・試し履き、競技用車いす体験。東京ガスの協力によりまして義足体験、視覚障がい者5人制サッカー。それと、近畿日本ツーリストの協力によりまして、バーチャルリアリティのVRフェンシングというものを行う予定でございます。

さらに、稲付西山公園、こちら桜ウォークのルート上でございます。こちらでアスリートの手形モニュメントのPRをしていきたいというふうに思っております。

議題の1番、東京2020大会カウントダウンイベントの実績報告及び開催について、報告は以上です。よろしくお願いたします。

**【齊藤座長】** ありがとうございます。

カウントダウンイベントということで、2年前記念イベントを実施したり、あとは、

500日前記念イベントをこれから実施するという内容の説明でした。いかがでしょうか、ご質問等あれば。

これ見ますと、2年前記念イベントの中ではいろんなプログラムが実施されてますが、ノルディックウォーキングとボッチャに関しては北区スポーツ推進委員の協議会様が企画いただいたということですが、いかがですか。当日の感想等何かございましたら、よろしくをお願いします。

【二村委員】 北区スポーツ推進委員協議会、二村でございます。

当日、朝からお手伝いをさせていただきまして、ウォーキングとボッチャを設営・運営をしました。ご記憶にある方もいらっしゃると思うんですけども、前日が台風が来た状況で、台風一過でもものすごく天気がよくて、風はそこそこあったので日陰に入るとしのげるような状況だったんですが、さすがにテントの下でないともう暑くていられないという状況の中で、ボッチャに関しては、本来ボッチャというのはフロアでやるものでして、人工芝のところでやるものではないんですが、ちょっと工夫をしまして、ブルーシートを敷いて、転がりやすくなるのではないかとということで、事前にちょっと試しをしたところ、これだったら転がるだろうということで、ブルーシートにあらかじめ小さなコートをテープで描いてできるように設営をいたしました。

ただ、ちょっと無理を言って、事務局さんのほうに「テントを大きいのを用意しておいてくれ」というふうに申し上げて、ボッチャのコートの上にすっぽりとテントをかぶせたことにより、特に午後になってから、グラウンドにどなたも出てこないような状況の中で、ボッチャのところだけ、あそこはテントがあるということで皆さん来てくださりまして、結構にぎわってまして、体験をしていただく方、また、ゲームを楽しんでくださったお子さんたち、何回もいらしてくださった方もいたようでした。

ノルディックウォーキングに関しては、近接する築山のところをずっとポールをつきながら歩いていただいて、なるほど坂道でポールをついて歩くと足への負担がこんなになるんだといったことを体感してもらうような形で実施をしまして。こちらに関してはそ

ここに、1時間に4～5人ぐらいだったんですけども、来ていただきました。中には、「どこへ行ったらこういったプログラムをやっているんですか」というようなお話もあったので、私どもでは持っていないので、「吉村さんのところのれっど★しゃっふるさんでこんなプログラムありますよ」といったことをご紹介したりですとか、そういったやりとりなどもございました。

ともかく暑いといった状況でしたけれども、この一言につきますけど、私たちもテントをいただいていたので、誰も気分悪くなる者もいませんでしたし、グラウンドのほうに熱さで気分悪くなるような方々はいなかったようです。

**【齊藤座長】** ありがとうございます。

ボッチャは意外と盛り上がったようですね。私どもの大学でも、昨年11月に学祭でオリパラの支援事業をやったんですけど、結構多くの参加者が集まって楽しんでいました。

今のご発言の中で、れっど★しゃっふるさんも何かかかわりを持たれたということでしょうか。

この中で、2年前イベントにかかわった方、もしくはご参加された方、あとは、500日前の記念イベントにかかわる方等もしいらっしゃいましたら、ご発言いただければ。感想でも結構です。いかがでしょうか。

よろしいですか。

では、先へ進めてまいりたいと思います。次、議題の2番目ということで、東京五輪音頭-2020-の取組状況についてということです。事務局のほうよろしく願いいたします。

**【事務局】** それでは、資料4のほうをご覧ください。東京五輪音頭-2020-の取組状況についてでございます。

1番の概要でございます。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が、1964年に流行いたしました「東京五輪音頭」をリメイクした「東京五輪音頭-2020-」を制作いたしました。地域の盆踊りやイベント等におきまして、こちらを広く歌い踊ってもらうために、CD・DVDの

貸出し及び振り付けの解説動画等の掲載を行っております。

2番の目的としまして、東京2020大会に向けて、開催気運を醸成するために、地域の盆踊りやお祭り、イベント等で使用していただけるように貸出しを行っているんですけども、貸出しのみでなく、講習会を行おうということで、講習会を行ったところでございます。

3の実績。

1番、講習会ということで、昨年7月8日の日曜日、赤羽体育館のサブアリーナで行いまして、145名という大勢の方に参加いただきました。下の写真のとおりなんですけども、サブアリーナを二重に取り囲むような非常に大きな輪になって、皆さん汗をかきながら講習会に参加していただきまして、ありがとうございました。

さらに、先ほど説明いたしましたカウントダウンイベントでも行いましたけども、この夏に地域の盆踊り、王子町会連合会さんですとか西ヶ原の町会等々、何か所かでこの東京五輪音頭、あるいは、学校等々で東京五輪音頭-2020-を踊っていただいたということでございます。

2番の物品の貸出ということで、CD・DVDの貸出を行っております。私ども東京オリンピック・パラリンピック担当課をはじめ図書館、それから、DVDにつきましては、19の地域振興室でも貸出しているところでございます。

東京五輪音頭-2020-の取組状況については、以上です。こちらの取組については、今後とも続けていきまして、今年の夏、来年の本番に向けて、東京五輪音頭-2020-の普及促進を図っていければと思っているところでございます。

報告は以上です。

**【齊藤座長】** 今ご説明いただきましたが、いかがでしょうか。

私も拝見しましたが、現代版にリニューアルして、それらしくというような踊りでした。実際盆踊りやられたということですので、協議会のメンバーのぜひDVD等をお借りいただいて一度見ていただければと思います。

よろしくどうぞお願いします。先ほど流れてたんですね。

【事務局】　そうです。

【齊藤座長】　では、次、3番目にまいります、大学連携事業「東京2020プロジェクトチーム（＃ときおば）」、これに関して事務局のほうからご説明をお願いします。

【事務局】　それでは、説明させていただきます。資料5をお願いいたします。大学連携事業「東京2020プロジェクトチーム（＃ときおば）」についてということでございます。

先ほど議題の1番のカウントダウンイベントの中でもちょっと説明させていただきましたけども、1番の東京2020大会プロジェクトチームとはというところでございます。東京2020大会の気運醸成を図るとともに、「トップアスリートのまち・北区」を区内外にPRしていくため、平成29年6月にプロジェクトチーム（愛称名：＃ときおば）を発足いたしました。

メンバーは東京家政大学及び東洋大学の学生で構成しておりまして、現在は10名で活動しているところでございます。このプロジェクトチームの活動期間は2021年3月末となっております。

活動なんですけど、2番の北区ニュース「オリンピック・パラリンピック特集号」の発行というところでございます。こちら今作成中ございまして、右はイメージの図が出ておりますけども、ちょっと小さくて見にくいんですけど、中ほど右側に建物の図が出ておりますけども、こちらは今年の6月に完成いたしますナショナルトレーニングセンター拡充棟の写真でございまして、その内容紹介等々の記事の内容になっております。

発行日が今年の2月20日ごろ。配布数は、区内全戸配布ほか、約20万部。主な内容といたしましては、先ほど申しましたナショナルトレーニングセンター拡充棟（仮称）の紹介、ROUTE2020トレセン通り周辺のスポット紹介、北区スポーツ大使おすすめスポット紹介等になってございます。

3番目、東京2020大会500日前記念イベントでの取組みということでございます。先ほど説明いたしましたように、2年前の記念イベントの中でも＃ときおばが活躍していただいたんですけども、今度は500日前のイベントの方でも取組みということでございます。

後ほど説明いたしますけれども、東京2020大会の事前キャンプ誘致におきまして、ハンガリーの柔道協会、フェンシング連盟の誘致が決定いたしました。イベント参加者に対しまして周知を行うために、ハンガリーの文化・歴史や各競技を紹介する展示物等を作製するというので、今準備を進めているところでございます。

議題の3番にあります大学連携事業「東京2020プロジェクトチーム（#ときおば）」についての説明は、以上でございます。

**【齊藤座長】** ありがとうございます。

どうでしょうか、質問その他ございますか。

前回出された特集号に関してはご覧いただけましたでしょうかね。東京家政大と私ども東洋大学の学生がかかわらせていただきまして、実は私のゼミの学生がこの中に入っています。学生の感覚を生かした形、ぱっと見斬新な新聞にでき上がっております。

また、特集号ができますので、お手元を取っていただければと思います。

これに関してはよろしいですか。

はい、お願いいたします。

**【尾花委員】** 商店街連合会の尾花と申します。

ここで話しているのか、オリンピックの気運を高めるために、東京都が商店街のフラッグ4万枚を作製して掲示するというお話を聞いたんですけど、どうでしょう、こちらのほうでは聞いていませんか。

**【齊藤座長】** 直接は関係ありません、この場でいかがですか。

**【事務局】** すみません、次の議題4のところで説明させていただきますので、今ご質問いただきましたので、回答したいと思います。

**【尾花委員】** すみません、これも余計なことなんですけども、ラグビーのほうも同じくやっていただけるそうなので、東京都のほうで。

**【事務局】** 事務局です。東京都のほうから直接伺ってないんですけれども、今まで商店街にフラッグをつけさせてくれということは、23区、区市町村含めて、東京都及び組織委

員会のほうに要望していったところなんです。

それで、以前にもお話しましたがけれども、このマークの使用というのが、基本的には開催都市ですとか区市町村ですとか、そういったところに限られまして、基本的には商店街には、商店街の名前だけでは掲出できないよということで、私どもの東京都北区という名前と並列であればいいよというようなことを聞いておりましたけれども、今、尾花会長のお話のように4万枚という具体的なお話はまだ直接伺ってませんので、そういった情報を今お聞きいたしましたので、詳しく東京都のオリパラ準備局に確認いたしまして、また皆様にもご報告できればと思います。

貴重な情報をいただきまして、ありがとうございます。

**【齊藤座長】** よろしいですか。

また、次の4番に若干関連するような内容が出てくると思いますので、併せて把握していただければと思います。

では、3番に関してはよろしいでしょうかね。ありがとうございます。

では、次の4番ですね。これは「ROUTEニーゼロ」ですか、「ニーマル」ですか。

**【事務局】** 「ニーマル」です。

**【齊藤座長】** 「ニーマル」ですね。なかなか複雑なんですけど。

ROUTE2020トレセン通り関連事業についてということで、こちらのほうも事務局から説明願います。

**【事務局】** 事務局です。それでは、資料の6番をごらんください。ROUTE2020トレセン通り関連事業についてというところでございます。

内容については今までも何回も触れておりますけれども、ROUTE2020トレセン通りを、さらに気運の醸成を図るために整備していこうというような取組みでございます。

要旨の3段目のところ、こちらのほうをご覧ください。現在は、ROUTE2020トレセン通りとその周辺の通り沿いにある街路灯等に、東京2020大会のエンブレムをデザインしたフラッグを掲げ、歩道にはオリンピック・パラリンピック競技の紹介看板、両脇にはソ

ーラータイプのポール型の照明を設置する準備をしておるところでございます。

私から見まして正面右側になりますけども、壁面に実物のフラッグが提示してございます。横が60センチ、縦が120センチ。これ実物大の大きさなんですけども、これをトレセン通りの姥ヶ橋と、赤羽商業、交差点名が変わりまして、「西が丘サッカー場交差点」という交差点になりましたけども、そこの間の街路灯にこちらを設置するというので、このフラッグにつきましては、2月から工事が始まりますので、2月の末ぐらいには設置されるという運びになると思いますので、ぜひ一度、お通りの際はごらんになっていただければと思っております。

そのあとの競技紹介看板とソーラータイプのポール型照明については、来年度、今年の4月以降に施工するという予定になっております。

資料に戻ります。「また」というところからですが、また、区立稲付西山公園に設置したアスリート手形モニュメントの台座には、北区ゆかりのアスリート手形の設置をし、今後さらに数を増やしていく予定ということでございます。

2の継続中事業の進捗状況というところでございますけども、フラッグ、看板、照明設置につきましては、先ほどお話ししたとおりでございます。

(2) 番のアスリート手形モニュメント台座への手形取付け状況というところでございます。

今現在16名の手形を設置済みということで、今、作製中ということで、卓球の張本選手、稲付中学校へ通ってますエリートアカデミー生でございますが、この3月に卒業ということなので、できれば3月末に間に合わせたいということで、1月28日、今週の月曜日になりますけども、手形をとりました。3月末までには設置したいというふうなことを思っております。

続いて、(3) 番のナショナルトレーニングセンター周辺のバリアフリー化というところでございます。

こちら、平成31年、今年の7月に供用開始を予定しているとお聞きしておりますけども、

ナショナルトレーニングセンター拡充棟（仮称）の周辺において、パラアスリートが安心して利用できるよう、バリアフリー化が求められております。そのため、当該周辺のバリアフリー化促進に関する関係省庁等連絡会議が設置され、当面の整備方針が取りまとめられたところでございます。

後ほど説明いたしますが、資料6-1のほうに別紙になってございます。

まず、この資料6の裏面をご覧ください。先ほど説明しましたフラッグのデザインイメージと、そこに設置してあるものと同じものが出ております。

その下が競技紹介看板デザインのイメージということで、フェンシングと車いすフェンシングの、オリンピック競技とパラリンピック競技両方の種目を掲出していくということを考えておりますけれども、このフェンシングと車いすフェンシングのように同じ競技でオリとパラがあるものとないものがありますので、必ずしも全て同じ競技ということではないんですけれども、NTCで練習している競技を中心に、こういった看板をつくるということで今準備を進めてまいります。

では、資料6-1のほうをごらんください。ナショナルトレーニングセンターの周辺のバリアフリー化に関する当面の整備方針の概要ということでございます。四角囲みのところ です。

この会議は、ワーキンググループを設置いたしまして、日本パラリンピアンズ協会の調査報告書を基に、それ以外にも利用が想定される個所を含めまして、改めて関係機関による実地点検を実施した上で、公共交通機関を利用したナショナルトレーニングセンター拡充棟（仮称）へのアクセス経路やハイパフォーマンスセンター、これはナショナルトレーニングセンターや国立スポーツ科学センターを含めた名称でございますけれども、各施設の移動経路について、バリアフリー化を段階的・継続的に進める「アクセシブルルート」を設定し、各施設管理者等が取り組む事項について当面の整備方針として取りまとめたところでございます。

こちらの関係機関ですけれども、私ども北区、板橋区をはじめといたしまして、都道を

管理する東京都と、バス事業者の国際興業ですとか、JR東日本等々を含めた会議体を設置したところでございます。

1番の基本的な考え方というところでございます。

整備にあたっては、実施点検での指摘の趣旨も踏まえつつ、関係機関等と連携・調整を図る。

ハード整備と併せて、情報発信及び「心のバリアフリー」の推進等に取り組む。

JSC、北区、板橋区など関係機関が協力して、構造体の抜本的な見直しを要するなどにより、当面の整備方針に盛り込むことができなかつた課題も含めて、継続的にスパイラルアップを図るということでございます。

下がNTC周辺の、簡単な地図になっておりますけども、2019年6月末までに整備を目指す主な個所というところで、視覚障がい者誘導用ブロックですとか、交差点の音響式信号機の設置等々簡単な図になっておりますので、後ほどご確認いただければというふうに思っております。

先ほど尾花会長からご指摘のありました商店街のフラッグの件につきましては、繰り返しになりますけれども、東京都に確認いたしまして、この実施につきまして、再度協議会並びに尾花会長にご相談申し上げまして、事業を進めていければと思っておりますので、ご指導のほどよろしく願いいたします。

私からの報告は以上でございます。

**【齊藤座長】** ありがとうございます。

それでは、ご質問等ございますでしょうか。

トレセン通りもオリンピック仕様になるというところでして。あと、資料6-1のほうにはナショナルトレーニングセンター周辺のバリアフリーということ話題も出ておりますので。

今日は日本スポーツ振興センターの河村部長にも来ていただいておりますので、バリアフリー化の進め方等お話しいただければと思います。

**【河村委員】** 日本スポーツ振興センターの河村でございます。よろしくお願いします。

まず、今ご紹介のありました周辺にかかわるバリアフリー化ということで、北区さんにつきましては歩道関係の整備にご協力いただけるということで、どうもありがとうございます。

最後のところにありましたように、建物としては6月末を完成予定と。そして、『北区ニュース』のところで、ちょっと小さくて申し訳ないんですけども、地上6階建ての建物を絵の図がありますけども、こういうものも、実際には建物の外観は全てでき上がっておりまして、現在は内装準備をしているところです。

その場所においては、もともとはトップアスリート、オリンピックのアスリートが使う施設でしたけども、2020年の大会に向けまして、オリンピック・パラリンピック両方の選手が使えるというようなイメージ観で進めております。

それにあたりまして、6-1の資料でございますとおり、選手の方がこの施設に来るにあたりましてということで、ちょうどここは、この地図で見ますと、左側が板橋区になりまして、この敷地自体は北区のほうになりますので、両方の区に交通機関がございます。左側のほうは、都営地下鉄は板橋区、赤羽の駅、JRのほうは北区ということで、交通機関の方にもご協力いただきながら、また、地域の歩道等については北区、板橋区、あるいは、信号等は警察の方々、いろんな方にご協力をいただきませんと、この建物だけでは事業はできませんので、この場をお借りしまして、お礼を申し上げますとともに、今後この選手たちがちゃんと使えていくように、私どもも施設の的にも整備いたしますが、皆様のご協力を得ながら、せつかくの施設ですので、ここで選手が準備をし、ここにもありますとおり、大会時の活躍につながっていければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**【齊藤座長】** ご説明、ありがとうございます。

今の情報伺っていかがでしょうか。こういうことがあると、皆さん興味を持ちますし、バリアフリー化どんどん進んでいくと思います。

資料6-1の基本的な考え方の丸の2つ目にありますが、ハード面のこういったバリアフリーも重要ですが、併せて、「心のバリアフリー」というような部分で、たまたま私どもの大学は今、朝霞にあって、朝霞も競技会場になっておりますので、オリンピック・パラリンピック、様々な支援事業をしております。必ずパラに関しては、心のバリアフリーという教育を小学生・中学生にやっておりますので、北区さんのほうでも工夫してやっていただければと思います。

どうでしょうか、ご質問とかございますか。

なければ、状況等ご理解いただいたということで。ありがとうございます。

それでは、次、5番目になりますが、東京2020大会におけるハンガリー国競技団体との事前キャンプ実施に係る覚書締結についてということで、こちらのほう、事務局からご説明よろしくお願いたします。

**【事務局】** 事務局です。それでは、資料7、東京2020大会におけるハンガリー国競技団体との事前キャンプ実施に係る覚書締結について。

1番の概要でございます。

区は、ハンガリー国競技団体と東京2020大会に伴う事前キャンプ実施について協議を重ねた結果、平成30年11月26日、ハンガリー柔道協会及びフェンシング連盟と覚書を締結いたしました。今後、同競技団体の事前キャンプ実施に向けた準備を進めるとともに、同国との交流を深める事業を行っていく内容でございます。

2番の事前キャンプ実施に係る覚書調印式及び懇親会でございます。

1の概要。

ハンガリー柔道協会及びフェンシング連盟が、北区において東京2020オリンピック競技大会の事前キャンプを実施することで合意し、覚書を締結するため調印式を実施いたしました。その後、区民等との親睦を深めるための懇親会を行ったところでございます。

(2) 番の日時・会場です。

平成30年11月26日の月曜日、17時30分から19時15分、北とぴあ14階のスカイホール、カ

ナリアホールで行いました。

(3) の内容です。

調印式・覚書の調印、それから、スピーチは本国からのビデオメッセージを含めて行ったところでございます。

そして、懇親会・立食パーティー、北区民オーケストラによる演奏会、北区柔道会児童による花束贈呈等を行いました。

(4) 番、式典に列席したハンガリー関係者。

クリスチャン・クルチャール ハンガリーオリンピック委員会会長。オリンピック委員会のクルチャール会長は、調印式はビデオメッセージで、懇親会のほうから出席していただきました。バーリント・ヴェーカーシ ハンガリーオリンピック委員会専務理事。こちらにも懇親会のほうに出席していただきました。ラズロ・トート ハンガリー柔道協会会長。トート会長は調印式のほうにも出席しております。バラノビチ・ノルバート 駐日ハンガリー大使。こちらのノルバート・ハンガリー大使も懇親会からの出席でございます。

残念ながら、フェンシング連盟の関係者の方は欠席ということで、タマッシュェフェンシング連盟専務理事のビデオメッセージをお預かりしたところでございます。

(5) の式典に列席した区関係者ということで、区議会議長と副議長、それから、区議会区民生活委員会の委員長と副委員長、北区教育委員会委員、北区町会自治会連合会、皆様方北区リレーションシップ協議会のメンバー、北区体育協会の関係者、スポーツ団体関係者等ということでございます。北区の出席者としましては、区長、副区長、教育長等でございます。

裏面をごらんください。こちら6番が記録写真というところで、上が調印式の模様でございます。覚書調印後の様子ということで、ちょっと小さくて見えにくいんですけども、左からトート柔道協会会長、真ん中が花川区長、右側が榎本はじめ北区議会議長でございます。右側が列席者全員での記念撮影ということで、大勢の方に参加していただきました。

次が懇親会の会場ということで、ハンガリーオリンピック委員会のクルチャール会長の

ご挨拶、花川区長のご挨拶でございます。

続きまして、歓迎の装飾ということで、左側が北とぴあ1階の区民プラザにこのように大きな懸垂幕を掲出したところでございます。ちょっと字が見にくいんですけども、「ようこそ北区へ」ということを意味した日本語とハンガリー語を併記したものでございます。右側が記念の缶バッジということで、列席者に配布したものでございます。

3番の今後の予定でございます。

まず、1番目が両競技団体と事前キャンプ実施にあたっての条件の調整をしていきたいというふうに思っております。

2番目、事前キャンプ実施会場の施設整備というところも進めていきたいというふうに思っております。

さらに、3番目、ハンガリー国をテーマにしたイベントの開催。これはスポーツに限らず、文化面ですとか、それから、子どもたちとの交流ですとか、そういったようなことも含めまして、どういったイベント実施できるか検討してまいります。

区内各イベントへのブース出展。これは区民まつりへの出展等を考えております。

このイベントの開催、交流、それから、イベントへのブース出展等々につきましては、改めてリレーションシップ協議会のメンバーの方々のご協力を得まして、あらゆる場面におきまして、どんな交流をしたらいいかということを検討させていただければと思いますので、皆様からのご意見を伺えればと思いますので、よろしく願いいたします。

報告は以上です。

**【齊藤座長】** ありがとうございます。

私も実はこの調印式は参加の予定でいたんですけども、事前に急用が入ってしまいましたので、欠席をしてしまいました。

いかがでしょうか。ご質問その他等ございますでしょうか。

この中で当日の調印式その他にご参加された方はいらっしゃいますか。感想等もしよろしければ一言お話しいただければと思いますが。

尾花会長、いかがですか。よろしいですか。

そのほか、ご参加された方はいらっしゃいますか。

こんな感想を持ったなど。よろしいですか。

まあ、ハンガリーのフェンシングと柔道という2種目、私もいろいろ噂を聞きますが、事前キャンプに決定しても、意外とキャンプで使われない場合もあると聞いておりますので、事前の交渉というか、関係を密にしていかないと、いいところだけ持っていかれてしまうということも考えられますので。ぜひハンガリーとのパイプを太くしながら、実際事前キャンプとして使っていただくような、そういった取組みをしていただければと思います。よろしいですか。はい。

【吉村委員】 れっど★しゃっふるの吉村と申します。

事前キャンプ実施会場のほうは、確か柔道は滝野川体育館柔道場を予定しているというような話を聞いたんですけど、そのとおりでしょうか。

【齊藤座長】 それでよろしいですかね。

【吉村委員】 その整備とかはどれくらいで完成する予定でしょうか。

【齊藤座長】 見通しはありますか。

【事務局】 事務局です。今おっしゃいましたとおり、キャンプの実施会場ですけれども、柔道は滝野川体育館の第二武道場である柔道場、畳の部屋でございます。フェンシングにつきましては、今、赤羽体育館を、メインアリーナかサブアリーナかはまだ決まっておられませんけど、赤羽体育館を使うということで考えております。

施設の整備でございますけれども、具体的な計画等々につきましては、この後、予算が確定次第、所管課と、施設を管理しています指定管理者と詰めてまいりますけれども、今考えているところは、まだ予定なんですけれども、まずトイレですね。外国の方がお見えになりますものですから、当然洋式のトイレというところがございます。それ以外には、まだ予定ですけれども、空調等々を考えております。

ただ、実施時期につきましては、来年度の4月ごろにすぐというわけにはまいりません

ので、来年度31年度の後半、10月、11月以降になるのかなというふうに思っておりますけれども、まだ細かい日程等については決まっております。当然、その間、体育館が使用できなくなるということになりますものですから、主管課、それから、指定管理者と協議を進めて、工事日程が決まりましたら、競技団体の皆様方にはなるべく早く、速やかに周知したいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

【吉村委員】 もう一つ、追加ですけれども、事前キャンプの実施の期間というか、多分その間は一般区民の方には貸し出しなさないということになると思うんですけれども、そこら辺の使用の制限の大体の見通しというのはあるんでしょうか。

【齊藤座長】 事務局、いかがですか。

【事務局】 事務局です。まだ具体的な期間については未定なんですけれども、今考えられるのが、オリンピックの直前になるというふうには思ってるんですけども、具体的な日数ですとか、いつごろの時期かというところはまだ決定しておりません。

それとあともう一つ、例えば事前キャンプを行うにあたりまして、基本的に滝野川体育館ですと柔道なものですから、第二柔道場を使用するというところなんですけども、トレーニングルームなんかも利用したいというような希望もあるようなので、その辺の調整が必要になってくると思うんですけども、現段階では、柔道場は、もちろん事前キャンプで使いますと、一般のお客様は使えないということになりますけども。

トレーニングルームにつきましては、今現在なんですけども、一般の方と一緒にトレーニングしてもいいよみたいなことを言っていますので、できればそういったところで交流ができるといいのかなというのもあるんですけども、ただ一方で、警察なんか心配しているのは、セキュリティの問題というようなこともございますものから、そういった兼ね合いをまた警察等々と協議しながら、どの程度専有スペースとして事前キャンプで使うのか、また、お客様につきましては、どの程度制約しなきゃいけないのかということも検討してまいりたいと思っております。

【吉村委員】 ありがとうございます。

【齊藤座長】 ほか、ございますか。

はい、よろしく申し上げます。鈴木会長さんですね。

【鈴木委員】 青少年地区委員会会長の鈴木と申します。よろしくお願ひいたします。

ちょっと事務局に教えていただきたいご質問なんですけど。私、昭和39年のオリンピックのときには電電公社の社員として国立競技場に長く勤めておりました。その年の前の昭和38年にプレオリンピックというのを盛大にやったんですね。今あまりプレオリンピックって話題に出ないんですが、事務局として知っている範囲で教えていただけますか。プレオリンピック、1年前の。

【齊藤座長】 事務局、何か情報お持ちですか。

【事務局】 事務局です。今、鈴木会長ご指摘のとおり、プレオリンピックの件なんですけども、私も当時のことはあまり詳しくないんですけども、1972年の札幌オリンピックもそうだと思うんですけど、前の年にオリンピックと同じような形式でプレオリンピックというのを開催したということは聞いてございます。

東京2020大会におきましては、プレオリンピックという形式で全ての競技を一時期に開催するという形式でなくて、各競技団体ごとにプレ大会という大会を行うというふうに聞いてございます。ですから、陸上ですとか、水泳ですとか、その他全ての競技になると思うんですけども、全て同じ時期に、全く1年前の同じ時期にオリンピックと同じような日程でやるというのではなく、1年かけましていろんなシーズンにプレ大会をやるというふうに聞いてございます。

【鈴木委員】 ありがとうございます。

【齊藤座長】 よろしいですか。

ほか、ございますか。はい、どうぞ。

【越野委員】 そうすると、今のお話で、フェンシングと柔道はハンガリーの事前キャンプとのかかわりというか、そこはどうなんですか。ハンガリーの選手来るわけでしょ。

【齊藤座長】 では、事務局、お願いします。

【事務局】 今ちょっと細かい日程が手元にないんですけども、ハンガリーのフェンシングのプレ大会ではかなりの選手が来るという予定になろうかと思います。その前に、いわゆる本番の大会の2020年の事前キャンプではなくて、プレ大会の事前キャンプをするかしないかというのはまだちょっとあちらのご意向を聞いておりませんので、今後調整していきたいなというふうに思っています。もし希望するというのであれば、事前キャンプを行うとともに、また区民との交流ですとか、そういったものも含めて、ひとつのイベントにできればいいかなというふうに思っておりますけども、まだちょっと相手方の意向が確認できないところでございます。

【越野委員】 ざっくりした時期というのは、細かいことは決まっていますか。

【齊藤座長】 そういったスケジュール等は決まっていらっしゃいますか。

【事務局】 8月25日が世界柔道、それから、11月24日が柔道のグランドスラム、12月13～15日が高円宮杯というフェンシングのワールドカップという予定でございます。

【越野委員】 会場が東京じゃないのもあるんですね。柔道は熊本かななかで。

【事務局】 8月の大会は東京ですね。11月24日の柔道については大阪です。12月のフェンシングは大会会場と同じ幕張メッセということでございます。

【齊藤座長】 越野会長、よろしいですか。

ほか、ございますでしょうか。

フェンシングだとかなり、特殊という表現はあれですけども、そこらここらにないようないろいろな装置が必要になってくる、その辺の施設で物品を調達する目処というのはございますでしょうか。

【事務局】 事務局です。フェンシングの場合は、ご存じのとおり防具ですとか、いわゆる剣ですとか、そういったものは個人で持ってくるんですけども、電気がつながってまして、ポイントが入ると電気がつくいわゆる審判器、そういったようなものは、私どものほうでフェンシング教室を開催しておりますので、準備はあるんですけども、その辺の仕様というんですかね、私どもが練習に使っている仕様でなく、いわゆる本番と同じものが

欲しいというふうに言われちゃうと、今ちょっと困っているところでございます。

同じく体育館なんかに敷きます敷物があるんですけども、ピストというものなんですけども。そのピストも私ども用意しているんですけど、その数ですとか、先ほどと同じようにオリンピックの会場と同じようにしてほしいとかいうことになると、また準備しなきゃいけないんですけども、その辺の道具をハンガリー側が持参するのも含めて、今後、競技会と事前に協議していききたいなというふうに思っております。

【齊藤座長】 ほか、いかがでしょうか。

なければ、5番目の議題は終わりにしたいと思います。ありがとうございます。

それでは、6番目、その他ということで何か、委員の方からございますでしょうか。

大竹委員ですね。

【大竹委員】 総合型地域スポーツクラブ コミスポたきのがわの大竹でございます。よろしく申し上げます。

二点ほどお願いしたいんですが。東京都をはじめ国中全体を上げて北区でも非常に気運が盛り上がってきているんだらうということで、私もここに参加させてもらって、そういうのを感じているんですけども、ROUTE2020トレセン通りを中心として北区が全体的にウェルカムっていう体制になっているんですけど。一方で、ちょっと離れちゃうんですけど、滝野川のほうにスポーツクラブ拠点があるんですが、滝野川のほうはROUTE2020が羨ましいなという感じで、こちらのほうは何もないのかなということもあるんですけど、そういうことも言ってられません。私たちスポーツクラブのほうに来られている方々に対して、今、我々が何か宣伝するだとか、その人たちに呼びかけるようなものというのは、今、何か。我々が行動すべきものっていうのは何かあるのかどうかというのが一点目です。

もう一つが、隣が北区あるいは豊島区なんですけども、北区でこのようなりレーションシップをされておりますが、例えば板橋区さんや豊島区さんのほうでの東京オリンピックに対する同じような取り組みだとか、類似するような取り組みがあれば、わかる範囲で教

えていただければと思います。

**【齊藤座長】** 事務局、いかがですか。

**【事務局】** 事務局です。まず、一点目なんですけども、大竹委員のご指摘のとおりで、ROUTE2020周辺が非常に盛り上がって、ほかの地区はというお話は確かに皆さんからあがっております、そのとおりでございます。ただ、私ども北区といたしましては、NTCを中心するところを一つの起爆剤としてということで、ほかの地域は何もやらなくていいということではないので。先ほど尾花会長さんからもご意見と言いますか、情報提供いただきました、商店街のフラッグですとか、そういったようなものは積極的に広げていければなというふうに思っております。

それと、まだ具体的にどういうふうになるかわからないんですけども、いわゆる「シテイドレッシング」という名称らしいんですけど、東京都のほうでこのオリンピック・パラリンピックを盛り上げるために、いろいろ街なかにオリンピック・パラリンピック関係のオブジェと言いますか、何か表現したようなものをつくっていかうみたいなところも計画しているようでございまして、そういったものも何か一緒に取り組めるのかなというところも研究してまいりたいなというふうに思っておりますので、東京都並びに組織委員会のほうからそういった情報がありましたら、皆様方に提供させていただきまして、また皆様方のお知恵を拝借しながら、このROUTE2020トレセン通り以外の地域でもオリンピック・パラリンピックの気運の醸成を図れるようないろいろな仕掛けと言いますか、仕組みがつくっていければなというふうに思っておりますので、今後とも協力をお願いします。

**【大竹委員】** そういった意味では何か情報をお持ちですか、他の区の取り組みについて。

**【事務局】** ごめんなさい、中央区と杉並区で同じようなリレーションシップをやっているようでございますけども、名称が違っても、やはりこのような地域の団体の方との交流会みたいなものをつくっているというようなことも聞いておりますので。「リレーションシップ協議会」という名称でなくても、よその区でも何らかの地域の方との連絡会をつくっているというようなことは聞いております。

それから、23区外になりますけども、武蔵野市。

武蔵野市のほうでも、オリンピック関係の方というか、スポーツ関係だけではなく民間の方々も含めて、武蔵野市でもこのような協議会をつくって、皆さんの声を聞いているという事案があります。結構大きな団体になっているそうです。以上です。

【大竹委員】 ありがとうございます。

ということは、北区がこの辺では一番盛り上がっているというような理解でいいのかなと、ちょっとうれしく思いました。

【齊藤座長】 越野委員さん、お願いいたします。

【越野委員】 次の項目にもなるのかと思いますけれども、今後ということでございますけれど、正直言って今日の報告は極めて残念というか、前回、私をご提案しましたし、事務局からもご賛同いただいた周知、要するにプレスリリースも含めてですね、SNSの活用ですとか、その辺のところは事業の内容として何の報告もされてない。どういうふうにおやりになられたのか。さっき500日前のイベントについて、あ、失礼、2年前イベントのところは650名の参加者というのがありましたけど、これどういうふうの評価されているのか。多いと思われているのか少ないと思われているのか、その辺のところも含めて、じゃ次どうするんだという話じゃないと、会議をする意味合いが非常に薄れてしまうんじゃないかなと思うんですね。

目的は気運の醸成ということですから、事前参加をされなくてもそういうことをやっているということがわかっているとか、そのことで、「じゃ、おれたちもまちでこういうことをやりたい」とか、そういうふうなことが今、滝野川のほうで。あの辺だけでやってんじゃないくて、こっちもやりたいよと、この会議の中でそういうのが出てくるのはいいんだけれども、こういうものをやっているということを知った上で、そういうふうに個々が思ってくれることはすごく大事だと思うんですよ。

だから、まずちょっと整理しますと、どういうふうに今発信をされてきているのか。卑近な例でフェイスブックなどを拝見していると、北区のフェイスブックのページの中には

随分出てくるようになったんだけど、もっとオリ・パラ独自でもって発信すべきじゃないのか。例えば、ここで張本君の手形ができますよなんていうのは、もう公開OKになった時点からそういうことを発信しながらやっていくとかですね、今まではどういう方の手形があるのかとか、それを一人ひとり紹介していきなり。フェイスブックなんて毎日発信してたって全然問題ないんで。そういうことの繰り返しが気運の醸成になるいうところを、僕は前のときにもお話をしたつもりでいたんですけども、ちょっときょうそれが感じられなかったのがすごく残念だなと。まだ500日以上、600日ぐらいあるんだね、ありますから、まだまだこれからだと思いますので、ぜひそのところをまず頑張ってください。

それからあと、この関係団体のリレーションもいいんですけども、北区役所内のリレーションはどうなっているのか、その辺のところもしっかりやっていただきたい。例えば文化振興財団で今年の11月にポーランドとの100周年の何かやるんですね。それはそれで素敵なイベントなんです。ポーランドも親日国ですし、いいなと思うんだけど、ハンガリーのことをやろうと思ったら、どのタイミングで文化振興財団がゴーサインを出さないといけないのか。このままいったら2020年の11月ですよと言っちゃったら、レガシーで残るのはいいけれども、オリンピックの気運醸成につながらないわけだから。そのところを、相互の関係というのをどういうふうにするのか。

今回、500日前について、桜ウォークというところと結びつけられたというのはすごくいいことだと思うんですよ。わざわざ、予算なんかありゃしないんだから、オリパラのために。だから、既存のすばらしいイベントにくっついてやっていくというのはすごくいいことだと思うんで、どんどんそれもたくさんやっていただきたいし、それから、民間のそういうイベントもやる。れっど★しゃっふるさんが何かやるのにオリ・パラが乗っかってもいいわけだし。滝野川でおやりなところが、滝野川の何かのスポーツクラブでイベントをおやりになるというところへ出前に行って、そこでやれば、2020トレセン通りだけの話じゃなくなるわけですよ。もっと出ないと、オリパラ課が表へ。というふうに、親しみを込めて、「頑張らましようよ」と申し上げたいな。

これなんかも、例えば北区が張り出しても一向に構わないんでしょ。だったら、滝野川の誰かの家のところに貼ったっていいじゃないですか、目立つところへ。北区が貼っているんだから。というような発想もあり得るんじゃないかなということなんです。商店街が貼ったりしてんじゃないよ、その人個人が貼ってんじゃないよと。北区が気運醸成したいから貼るんだよっていうんだったら、トレセン通りじゃなくたっていいはずなんです、これだって。赤羽の葉山さんのビルのところにデジタルサイレージができましたよね。ああいうところに北区がどんどん出していくとかいうんだってあるじゃないですか。

だから、情報発信をしていくなんていう手段はお金をかけなくても山ほどあるはずなんで、もっとそこをしっかりとやっていただきたい、こういうふうに思いますね。それをぜひ今後のスケジュールの中に具体的に載せてくださいよ、何をやるのか。この会議はこの会議でいいんだけど、この前僕が申し上げた、報告の会にしないでください。これだけすばらしいメンバーが集まっているんだから、議論の会議にしてくださいと申し上げたつもりですよ。ぜひ。本当に一生懸命考えてます。

ちなみにハンガリーで言えば、東京商工会議所としては、2月の役員・評議員会にハンガリー大使館の三等書記官、貿易担当の方なんですけど、来ていただいて何か経済界同士のところでリレーションが進められないかということで。皆さんにもご案内しますので、ぜひそこも聞いていただいて。尾花会長、副会長としておいでいただきますので。そういうことを始めたいと思ってます。本当に盛り上げたいと思っていますので、余計なことをいろいろ申し上げました。

**【齊藤座長】** ありがとうございます。

確かに前回の協議会に出ているんですね、いわゆる広報のツールという形でございますが、いかがですか。

**【事務局】** 事務局です。まず、情報発信の件なんですけど、確かにSNSとかいったものにちょっと弱いところもありまして。ホームページ等々では発信してはいますが、ちょっとそういうところは弱いところだなというふうに思っています。

今日の資料には添付していたんですけども、今後のスケジュールといたしまして、トレセン通りの整備ということで、ハード面の整備については説明させていただきましたけども、ソフト面ということで、今、地域情報発信アプリというようなものの開発の準備を進めておりますので、今、越野会長のご意見がありましたように、そういったあらゆるツールを使って情報を発信していけたらなというふうに思っております。

それから、リレーションシップ協議会の議論なんですけども、庁内的な連携をもっと深めて事業を進めていけということをしていただきまして、確かにおっしゃるとおりでございます。庁内の連絡会議といたしましては、全部長にお集まりいただきまして推進本部というものを立ち上げておまして、そこで随時事業の報告と各部との連携というようなものを模索して検討しているところでございますので、そういった推進本部を今後強化していきまして、庁内一丸となって気運醸成を図っていきたいというふうに思っております。

それと、地域の連携ということなんですけども、ご指摘のとおり、ここに参加していただいているメンバーの皆様以外にも、いろいろな団体とコラボレーションしまして、いろいろな事業が展開できるようにしていきたいなというふうに思っているところでございます。

ただ一つ残念なのは、フラッグを個人のお家に貼ったらどうかというお話なんですけども、商標の問題とかありましてなかなか難しいところもあるんですけども、先ほど説明いたしました、また、尾花会長からも情報をいただきましたように、商店街にフラッグをつけるというのも、最初は非常に組織委員会も厳しい顔をしていたんですけども、いろいろなところで条件が緩和されてきておりますので、今後そういったような条件が緩和されていくだろうというふうに予想されますものですから、それに乗りましていろんなところでエンブレムですとかマスコットとか、そういったようなものもまちなかに広げていきたいというふうに思っております。

最後に、報告の会だけでなく議論の会というようなことでいただきまして、おっしゃるとおりかと思っておりますので、今後とも単なる報告に終わりませんように、例えば今日で言いますと、最後の事前キャンプについてなんですけれども、今後、皆様方と協力して、

いろいろな交流イベント等も開催していきたいと思ひますし、今、越野会長からいただきましたように、商工会議所さんといたしましてもハンガリーとのおつき合ひをしているということも伺ひまして、勇氣百倍でございますので、今後、皆様方にも巻き込みながら、ご一緒に進めていきたいというところをますます力を入れていきたいと思ひますので、今後ともお気づきの点ありましたらご指導のほどよろしくお願ひいたします。

【齊藤座長】 リレーションシップということで、いわゆる行政のミッションですので、越野会長さんのおっしゃるとおり、今日は報告みたいな部分が多いところもありますので、ここを区のほうで随時調整いただいて、どういう形でそれぞれの団体が氣運醸成に絡んでいけるかというような、そういうご提案もしていただければなと思ひます。よろしくお願ひいたします。

そのほか、ございますでしょうか。

【越野委員】 これからのこととして、実際に競技が開会してからのことになりますけども、いわゆるコミュニティライブサイト、パブリックビューイングですね、こちらのほうは大きな会場での、電通さんなんかを取り仕切るようなやつというのはもう8会場決まってしまうと、こちらで入手できる段階ではないようでございますけれども、比較的小さな形でやるようなものについては東京都も予算をつけるというような状況だということ、東商の中でのオリ・パラの検討委員会のほうでもお話を聞いております。その辺、どういふふうにオリ・パラ課のほうで情報が入っているかわかりませんが、ぜひこれは実現するように動いていただきたいというふうに思ひます。

その運営については、観光協会のほうで具体化をしていけばしっかりと運営のお手伝ひをするとか、必要があれば主管してやっていくということも多分できると思ひます。これは本当にお金が下りてくる話ですから、手を挙げなければほかのやるだけの話なので、ぜひ積極的にやっていただきたい。ですから、もう一回その相談のところの、今のよう、実際にやるのはオリンピックのときだとかっていうんだけど、どこかのタイミングで早めに手を挙げておかないとできないんです。

さっきもうるさい文句ばかり言ったんですけども、僕が大変ご評価申し上げているのは、事前キャンプを誘致していただけたということです。あれもやっぱりみんなで気がついて、3年も前ぐらいから準備をしてきたんで、実現できたんだと思うんですよ。今回のこともそういうことがポイントポイントのところでたくさんあると思うんですね。さっき尾花さんがおっしゃられたようなこともそうですし、これは私どももできるだけ、何かそういう情報が入ったら今までと同じように情報をお渡ししたいと思いますけれども、ぜひ食欲にそういうことを情報収集していただいてやっていただいたほうがいいなと。重ねて、コミュニティライブサイトの実現については努力していただきたいというふうにご要望申し上げます。

**【齊藤座長】** いかがですか。

**【事務局】** 事務局です。コミュニティライブサイトなんですけれども、こちら、通常のパブリックビューイング、プラス何かイベントを行うということで、その2つが合体してコミュニティライブサイトという形になります。今、越野会長のご指摘のとおり、いわゆる大規模なものについては東京都で決定しておりまして、市区町村でこういったイベントをやるかという事前調査がきてまして、どの程度のイベントができるかはわかりませんが、少なくともパブリックビューイングはやりたいということで東京都にも回答したところでございます。

今、越野会長からご指摘ありましたように、観光協会の事務局からも「ぜひ一緒にやりたい」というお話も伺っております。都議会の第4回定例会でそのようなことが質問になりまして、東京都のほうでもその財源を措置するということを明言しておりますので、こちらについては、そういったような補助ができるんだということは明示してございます。

東京都のオリ・パラ事務局からの情報によりますと、3月にその辺も含めた内容と言いますか、簡単な情報になるのかわかりませんが、その概要が示されるというふうに聞いておりますので、都の枠組みといったものが私どもの情報に入りましたら、また改めて皆様方にご相談させていただくとともに、ぜひそういった補助金が出るということであ

れば、その補助金を活用して何かをつくっていければなというふうに思っております。ただ、どのぐらいの規模で、どの程度のものを、どこでやるのかというようなことについては、今後、関係団体とも調整させていただきたいというふうに思っております。

**【越野委員】** 確認ですが、パブリックビューイングだけじゃなくて、コミュニティライブサイトのほうにも手を挙げているということでしょうか。

**【事務局】** すみません、まだ事前調査という段階なものですから、今後、実際に手を挙げるとなった場合には、3月の対応というんですかね、そちらを見て決めたいと思っております。今ご指摘のとおり……。

**【越野委員】** 事前の意向に対して、パブリックビューイングとコミュニティライブサイトの両方とも手を挙げているのでしょうか。だから、それについては、今の現状で結構です。

**【事務局】** 今の現状ではパブリックビューイングをやりたいというふうに手を挙げているんですけども、コミュニティライブサイトについては、繰り返しになりますけども、どの程度のものをやって、どの程度の補助金が出るかというところまでわかっておりませんので、とりあえず現在ではパブリックビューイングは最低やりたいということで手を挙げております。

**【越野委員】** コミュニティライブサイトについては保留しているというか、特にやりたいという積極的なあれは考えていない。パブリックビューイングだけっていう……。

**【事務局】** 今の現状ではそのように考えています。

**【越野委員】** そこをぜひ。いろいろ協力ができると思いますから、コミュニティライブサイトという方向を打ち出していただければなと思うんですけど。

**【齊藤座長】** 商工会議所さんのほうもコミュニティライブサイトに関しましては、積極的ですので、むしろこういう場でこうった意見が出ないような形で、事前に情報の共有をしていただければなと思いますので、よろしくお願いします。

ほか、ございますでしょうか。特になければ、事務局のほうで、その他で用意している

ものはございますか。

【事務局】 すみません、資料がないんですけども、その他で一点だけ、口頭でご報告させていただきます。

聖火リレーの件でございます。聖火リレーにつきましては皆様方非常に興味があるかと思えますけれども、聖火リレーのルートにつきましては、各都道府県で実行委員会をつくりまして、今、東京都の聖火リレー実行委員会というものを立ち上げてまして、そこで今検討がなされているところでございます。今現在確認できている内容についてご報告を申し上げます。

聖火リレーにつきましては、東京都内62全区市町村を全て通過するという方針は決まっております。実際のルートにつきましては、東京都の実行委員会で決定するんですけども、区市町村の意見を聴いて決定するというので、近々意見聴取になるということは聞いておりますので、私どもといたしましては、トレセン通りをこれだけいろいろ整備しておりますものですから、このトレセン通りを中心とした聖火リレーのルートにしたいなというところは強く申し入れをしたいというふうに思っているところでございます。実際にルートが決定するのはこの夏ぐらいだというふうに聞いておりますので、またその辺の情報が入りましたら、皆様方にご報告したいというふうに思っております。

それから、聖火リレーのランナーなんですけども、ランナーについてはもっと先に決めていくということになろうかと思えます。1964年（昭和39年）の東京オリンピックのときには18歳から20歳までの方という限定があったんですけども、今、組織委員会で考えているのは、そういった年齢制限ですとか性別ですとか、そういったような枠はないと。ですから、基本的にはどなたでも参加できるということは言っております。

ただ、情報によりますと、1964年（昭和39年）の聖火リレーと違いまして、スポンサー枠という枠があるそうなんです。具体的にいうとコカ・コーラみたいなんですけども、そのスポンサー枠で募集するというような、かなりの割合を占めるようございまして、区市町村で実際に推薦を決められると言いますか、最終的に決めるのは実行委員会になると

思うんですけども、その枠はそんなに多くないというふうに聞いてございます。

この辺の聖火リレーのルート、それから、ランナー、ランナーは1人約200メートル走ると言ってますので、ルートがどのくらいになるのかわかりませんが、情報では概ね2キロから3キロ程度と言ってますので、そのうちどの程度がスポンサー枠かというようなことを含めて、員数については未定でございます。情報が入りましたら、また皆様方にご相談、ご報告したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

聖火リレーについての報告は以上です。

**【齊藤座長】** ありがとうございます。

ただいまの聖火リレーについて、ご質問その他ございますか。

特になければ、大きな4番目、今後のスケジュールということで、事務局のほうからお願いします。

**【事務局】** 事務局です。それでは、今後のスケジュールというところです。まだちょっと具体的なスケジュールがないので、表とか資料がないんですけども。

このリレーションシップ協議会は、今まで年に2回というペースでやってきたんですけども、先ほどご説明いたしました聖火リレー、それから、越野会長からご指摘いただきましたコミュニティライブサイト等々、だんだん1年を切ってくるということになりますと、いろんな課題、それから検討しなきゃならない、決定しなきゃいけないことが今後増えてくると思いますので、回数を増やして、できれば年に4回程度の実施をできればというふうに思っております。

まずは来年度、31年度の第1回目の日程が決まりましたら、皆様にお知らせするとともに、年間4回開催というふうなことを目指していきたいというふうに思っておりますので、どうか皆様方のご協力をよろしくお願いいたしますと思っております。

今後のスケジュールについては以上です。

**【齊藤座長】** ありがとうございます。

それでは、きょうの会議の次第の中身はこれで終了になりました。

全体を通じて何かございましたら。よろしいでしょうか。

では、特にないということでしたら、これにて第5回北区リレーションシップ協議会、閉会としたいと思います。ありがとうございました。

午後8時22分閉会